



光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



戌年企画
ワンだふるファミリ～

～愛犬ボースと散歩をする関根隆博さん～
(紹介は10ページ)



「先進地視察研修にクラブ員20人が参加」

最新技術を“農業・酪農”へ

常呂町4Hクラブ 会長 中島 賢人

常呂町4Hクラブは6月7日から8日までの2日間、会員20人が参加をして札幌近郊の視察研修を行いましたので、研修要點を報告致します。

自動操舵による精密農業

視察研修の初日は、苫小牧市の美沢にあるファームHFT（日本ニユーホランド）株農場を視察しました。同農場では、農地を28ha（あいだ）所有

しておのそじで社員研修や新農業機械のテストなどを行っています。そして今年は小麦、馬鈴薯、甜菜、かぼちゃ、大豆、牧草を作付けしておりました。

同農場では、GPSの使った自動操舵による精密農業に力を入れており、独自のGPS精度向上システムである「RTK・PLM」（ネクト）を使用することによって、精度を1.5cmまで向上させることができました。そのため、圃場を見ても無駄がなく綺麗に直線でした。それらを搭載した最新のトラクターを試乗させてもらひとてもいい経験になりました。

また、ドローンを使った生育状況の確認、今では近赤外線を使用したカメラによるより精密な生育状況の確認など



● 視察研修に参加したクラブ員と原田秀治農場長（前列右から2人目）

自動搾乳機システムを学ぶ

の試験を行っています。これらの技術を活用して限られた圃場からより多くの作物を収穫し、かつ効率よく作業が出来るようになればと考えます。

自動搾乳機

次に、江別市にある酪農学園大学に伺い大学内を見学させていただきました。

最初に、牛舎の方を見学し、牛の飼育方法や最新技術などの説明を受けました。

初めて、牛舎の方を見学し、牛が自ら搾乳機に入り搾乳されている姿を見て部員一同興味津々でした。

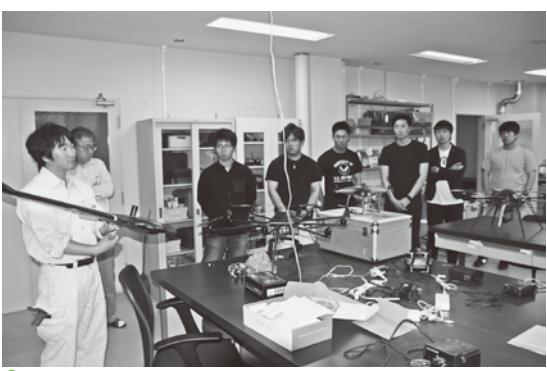
ドローンによる画像処理

また、酪農学園大学にはバイオマスプラントもあり、そこでふん尿を発酵させ発電牛舎の電力をまかなっていました。最後に、農学系の方も見学させていただきました。そこでは水稻、畑作物、野菜、花さなどの農業生産物について学んだり、作物保護と言つて病気などの発生について研

究の出来る施設も備わっていました。時間の都合上詳しく述べを伺う事が出来なかつたのですが、学生にとってとてもいい環境が整っているなどを感じました。



● 初めて見る自動搾乳機に興味津々なクラブ員



● 固定翼の機体について説明を受けるクラブ員

用すると病害の進行や草丈、穗の水分、圃場の起伏などといったデータが得ることができ、適確な防除、追肥、収穫するタイミングなどが分かります。

次に実物のドローンを見せていただきましたが、今ではドローンだけではなく固定翼の機体も使用していく、ドローンの倍以上の飛行時間ががあり、このような技術がもっと普及すれば収量アップにもつながるのではないかと感じました。今回の研修で学んだことで、見てきた事をこれから「農業」「酪農」に少しでも活かしていきたいと思います。

新規就農青年に激励状伝達



● 激励状を伝達する川上組合長(左)と受け取る松本さん(右)

平成30年度の新規就農者激励状伝達式が5月23日、当JA会議室で行われました。この伝達式は、北海道農業・農村を担う一員として、新しく農業に意欲をもって取り組む青年に毎年、JA北海道グループ五連（中央会、木クレン、信連、厚生連、共済連）会長連名の激励状と記念品を贈呈しています。



● 後列左から：工藤産業課長、内匠管理部長、石山参事、今橋信用部長、田渕農企画課長
前列左から：上館所長、松本一紘さん、安藤聰さん、小野寺勇太さん、川上組合長

～新規就農者激励状伝達式～

当JAでは、本年度3人の新規就農者に授与されました。

伝達式には、当JAの川上組合長をはじめ、北見市常呂総合支所工藤豊課長、網走農業改良普及センター上館伸幸所長に同席頂きました。

伝達式では、川上組合長から一人ひとりに激励状が手渡され、その後、川上組合長や来賓の工藤課長、上館所長から、就農者の皆さんに今後の活躍を期待する激励の言葉が贈られました。

管内の若い農業者と交流 ～オホーツクJA青年部遠紋・北常ブロックスポーツ交流会～

オホーツクJA青年部の遠紋・北常ブロック（幹事：JA（きたみらい青年部））は6月2日、北見市のボウルサンシャインでスポーツ交流会を開催し、JAとそこ青年部役員7人を含む約40人が出席し、交流しました。

このスポーツ交流会

は毎年、管内のJA青年部

年部の部員が広域で交

流を図ることを目的

に、管内14JA青年部

を美津・斜網ブロック

（斜里、清里、小清水、

オホーツク網走、女満

別、美幌、津別）と遠

紋・北常ブロック（北

オホーツク、オホーツ

クはまなす、えんゆう、

湧別、佐呂間、きたみら

い、常呂）の2ブロック

に分けて開催されています。

今年のスポーツはボ

ウリング。7青年部の



● 優勝景品を受け取る遠藤書記長(中央左)

女性部の取り組み

フラワー・ボールがお出迎え!

J A ところ女性部（岡田真理子部長）は6月8日、女性部役員、あおぞら市部会員など11人が参加してJA事務所前のフラワー・ボール作りを行い、円形状の枠に色とりどりのベニシアが植えられました。

フラワー・ボール用のポット作りの作業とはめ込み作業をJA横で行い、完成となりました。

間もなく1か月を迎えるフラワー・ボールの花も満開に咲き誇り、JA事務所を訪れる皆さんの目を楽しませてくれています。近くにお寄りの際は、是非ご覧になって下さい。



あおぞら市部会の皆さんと一緒に作業

たくさんの花で訪れた人を元気に

＊常呂厚生病院花壇整備＊

J A ところ女性部は5月30日、常呂厚生病院前の花壇整備を行い、女性部役員とあおぞら市部会員、病院関係者など15人が参加しました。

あおぞら市部会員が丹精込めて育てた花苗は、同病院の入院患者及び外来受診の皆さんとの「心の癒しになれば」という想いを込め、参加者皆さんの手により一つ一つ丁寧に植付けられました。

今年も花壇には、マリーゴールドやサルビア、アリッサムなどが綺麗に並んで植えられていますので、お近くを通られた際は是非、ご覧下さい。



植えた色とりどりの花と花壇整備に参加した皆さん

ステキな暮らしを提案します

家の光



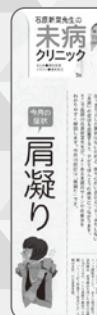
おやつも安心
カンタン手作り!



家庭園芸



家庭園芸も
楽しく失敗なし!



お楽しみ
連載記事!



年6回

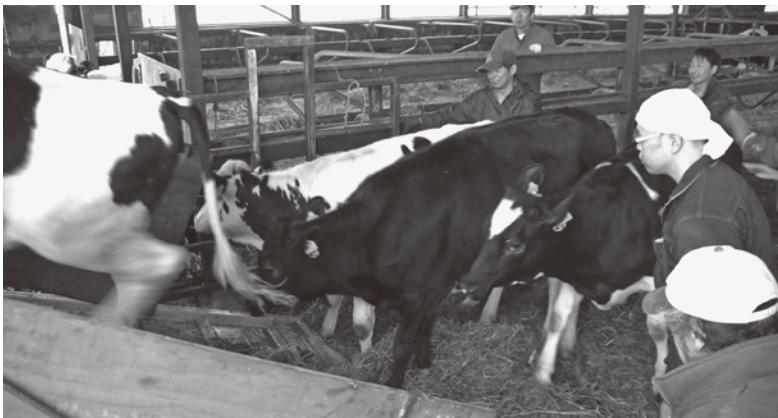
お役立ち別冊付録付き



家の光

お申し込みはお近くのJAへ

- 定価(税込)
- 普通月号 617円
- 付録月号(1・4・5・7・9月号) 906円
- 家計簿付き12月号 1,008円



上 酪農家自ら輸送トラックに乗せました
下 入牧の順番を待つ牛たち

JAところ（川上和則組合長）は、毎年行っている農協川東牧場への入牧を5月21日に行いました。各酪農家は健康で立派に育つことを期待し、乳牛を送り出しました。入牧作業は、酪農家やJA職員の他、北見市常呂総合支所からも応援を受け

行われ、109頭の元気な乳牛が放牧地へと駆け出して行きました。入牧を行った酪農家の梅田俊則さんは「大きくなつて帰つて来いよ」と牛たちに向かって呼びかけていました。この牛たちは、退牧を迎える10月、健康で立派に大きく育つた姿を見せてくれることでしょう。

大きく育ちますように!!

～農協川東牧場に109頭が入牧～

収穫期に向け 鉄コン配布

JAところは、5月上旬よりジャガイモシステムセンチュウ拡散防止対策として取り組んできたスチールコンテナの洗浄作業が終了し、6月5日と6日の両日、玉葱選別工場で玉葱用として15,304基を配布しました。また、6月14日には種子馬鈴薯用488基のスチールコンテナを配布しました。

廃プラ回収

JAところは、農産物を生産する過程で使用する農ビ・農ポリ・農薬空容器などを適正に回収することが義務化されている中、本年第1回目の廃プラ回収が6月11日と12日の2日間、当JA10号倉庫で行われました。今回、110戸の組合員皆さんから農ポリ47,476kg、農ビ899kg、育苗箱1,997kg、エレメント容器2333kg、農薬空容器3,615kg、農薬空袋196kg、ペール缶395kgが回収されました。

秋にも2回目の回収を行いますので、廃プラスチックのリサイクルから始まるクリーンな環境づくりにご協力をお願いします。



処理業者によって適正に処理されました



鉄コンが落さないように
しっかりと固定

No.12

○第12回はGAPにおける肥料等の在庫管理について取組例をご紹介します。

GAPってなに?



年金友の会 パークゴルフ大会

増進に取組んでいます。

この日は天気が心配されましたが雨には当たらず、参加者たちはベストスコアを目指すことができました。

し心地良い汗を流しました。
結果は以下の通りです。

藤國昭会長)は6月9日、JJAといふ年金友の会(佐
ルフ大会を常呂町森林公園パークゴルフ場で開き28人が参
加しました。

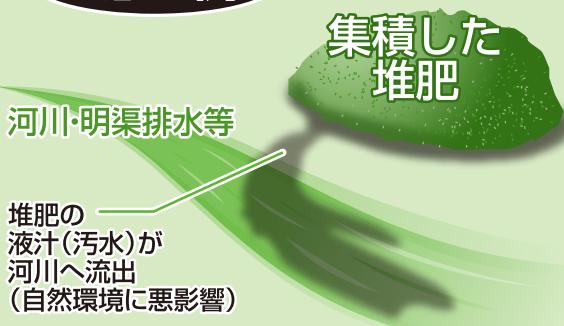


上 開会式の様子
下 藤澤由一さんのショット

堆肥の散布・保管に注意しましょう!

- 高温時に堆肥・液肥を散布した際は、悪臭を防止するため散布後、直ちにすき込みましょう。
- 運搬時には、堆肥を道路に落とさないよう注意しましょう。
- 堆肥が、河川や明渠排水等に流出すると環境や生態系に影響を及ぼします。土盛りするなど適切に保管しましょう。

×悪い例



○良い例



※ 営農集団長会による環境委員会の設置により、関係機関による堆肥保管状況調査実施の際に、各営農集団の環境委員が同行し調査を実施いたします。
なお、調査時期は7月中旬頃を予定しております。

ほくてん 農家の皆様へのお知らせとお願いです。

農耕機械等と送電線との接近・接触事故防止について

農耕機械等と送電線の接近・接触による事故は、広範囲な地域にわたって停電となり社会的混乱を招く事態となるばかりでなく、感電人身災害に発展する恐れがあります。

農業経営の皆様には種蒔、融雪剤・肥料・農薬散布、収穫等で送電線の付近を作業することがあると思われます。特に大型のハーベスター、スプレーヤー等を使用される場合には電力線と接近・接触する恐れがありますので、安全に作業を進めて頂きますようお願い致します。

なお、打合せ・立会いに関する費用は一切申し受けおりませんので、事前の連絡をお願い致します。

**連絡先 北海道電力株送配電カンパニー
北見支店電力部送電グループ
電話：(0157) 23-6879**

又は、最寄の北海道電力(株)の事務所へ連絡くださるようお願い致します。





ピザ達人と サスペンション!

JJAところは今年、創立70周年を記念してピザ窯を導入しました。
6月23日に開催された組合員交流会では、設立50周年を迎えた4Hクラブの部員が利用者第1号となり、ピザ生地づくりとピザ焼きを担当し、組合員に振舞われました。
このピザ窯は、耐熱レンガをブロックのように組み立てるだけのシンプルなもので、準備にかかる時間もわずか15分程度と使いやすいものとなっております。
ピザ生地レシピも作成しましたので、地域のイベントなどで利用を希望する場合は、JJAところ営農企画課までご連絡下さい。

JAやJA関連団体へ100%就職

(平成29年度実績)

大学・短大・専門学校・高校生大歓迎 第1回学生募集 JAカレッジ

- 60名 ● 1カ年、全寮制 ● 満24歳未満(平成30年4月1日現在)
 - 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
 - 試験日:9月8日・9日 ● 願書受付:7月2日~8月13日消印有効 ● 学校見学もできます

お問い合わせ
資料請求

IAグループ職員養成校

JJAフルーツ職員養成校 JAカラッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
TEL 0120-918-417 [JAカラハヅジ検索](#)

少し枯れ始めてしました。本当は上きたかったのです
つたのが残念です
春に芝桜を撮りに行けたので、夏には海、秋には紅葉、冬には流水を撮りに行くのが今年の目標と思っています。風景以外にも、実家に戻った時はのんびり家族の写真もたくさん撮つていきたいです。

生産部 販売課 若松 垣弥音
私が最近楽しみにしていることは、買ったばかりのカメラを持って、休日にいろいろな被写体を撮りに出かけることです。
以前は、写真はあまり撮らなかつたのですが、友達からカメラを借りて撮つてみたのが思いのほか楽しく、「私も欲しい!」と思い、思い切つて4月に買いました。予想以上に高くて悩みましたけど、買ってよかつたなと思っています。
そのカメラで、友達を撮つたり家族を撮つたり、5月には東藻琴の芝桜を撮りに行きました。

「最近樂しそなこと」

ちょっと発信

JAマシヨーナー

発信No.54

J A職員からのオススメを
ジャンルにこだわらずに
紹介するコーナーです。

●若松職員のベストショット

第4回理事会報告

- 平成30年度ディスクロージャー誌について**
ディスクロージャー誌を承認し、金融店舗へ備え付けることで承認されました。
- 平成30年度コンプライアンスプログラムの制定について**
原案の通り実施することで承認されました。
- 財務管理規程の一部改正について**
原案の通り一部改正することで承認されました。
- 信用事業方法書（金融機関等の業務代理）の一部変更について**
原案の通り一部改正することで承認されました。
- 農協林の伐採について**
原案の通り伐採を実施し、伐採後についても保全を実施することで可決決定しました。

- 平成30年度事業計画に基づき、つぎの固定資産を取得することで承認されました。
 ○農協牧場堆肥場整備
 ○野菜集出荷貯蔵施設受変電設備改修工事
 ○S49麦乾ファンモーター交換工事

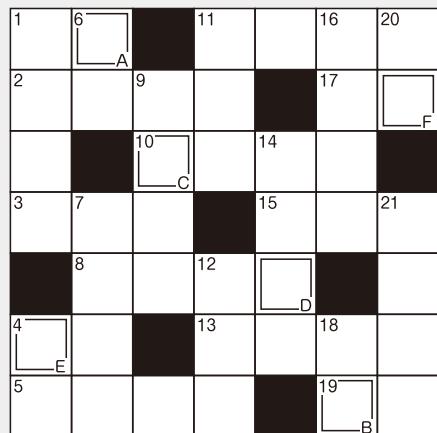
〈報告事項〉

- 固定資産の取得について（100万円以下）
- 監事の就任について
- 第13回組合員交流会の開催について
- J Aロゴマークの商標登録の出願について
- J Aバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- J Aバンク基本方針に基づく「財務モニタリング報告」について
- 監査機構監査日程について
- 組合員の加入・脱退について
- 職員の退職について
- 農業委員会開催報告

行事予定表

7月1日(日)～7月31日(火)

7月3日(火)	玉葱振興会夏季交流会	7月18日(水)	年金友の会ゲートボール大会
7月5日(木)	加工芋フィールドデー	7月20日(金)	第6回定例理事会
7月7日(土)	閉組日 年金友の会パークゴルフ大会	7月21日(土)	閉組日
7月14日(土)	閉組日 年金友の会30周年記念式典	7月22日(日)	農休日
7月16日(月)	海の日	7月28日(土)	閉組日



Crossword Puzzle ～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Fの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか？

タテのカギ

- 酒を飲むための小さな器
- 整形〇〇で膝の関節を診てもらった
- 料理をのせます
- 今度来た新人は仕事の〇〇〇〇が早いね
- ラストスパートです
- 本能寺の変を起こした〇〇〇光秀
- 乱れたものをきちんと直すこと
- 親から子へ受け継がれます
- こういうことはここじゃあ日常〇〇だよ
- 虫をよけるため布団の周りにつります
- アウトの反対言語
- サッシと呼ばれることも

ヨコのカギ

- 七夕の飾りに使う植物
- 歌うことを楽しみに行きます
- シイタケ、シメジ、エリンギなど
- お酒が飲めません
- ピカッ、ゴロゴロゴロ
- 音を遮断したいときにはめます
- 社会の〇〇〇〇として地域に貢献する
- カタツムリが似合いそうな花。鎌倉の明月院は〇〇〇〇寺と呼ばれます
- 輪島市や加賀市や金沢市はこの県の市
- 鎖国中にも貿易が行われた場所
- 書類や伝票につきます
- 俳優が演じたり入り込んだり

先月の当選者・解答

6月号のまちがい探しの答えは、「1、6、7、9、12」でした。
抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。
芥川 綾菜さん(共立)

※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。
抽選で、**今月はサロマ湖鶴雅リゾート入浴券(ペア)を1名の方にプレゼントします。**

読者の声

★クロスワードパズルの答えがわかったときがとても嬉しいです。

(匿名希望)

★表紙に登場する犬がとてもかわいいです！

(匿名希望)

いび川農業協同組合・常呂町農業協同組合・常呂漁業協同組合

友好提携1周年記念 記念品贈呈式 2018年5月25日



左から川上組合長、さざれ石を贈った堀尾組合長、高桑組合長

JJAとうじゅう（川上和則組合長）と常呂漁業協同組合（高桑康文組合長）、岐阜県のJAいび川（堀尾茂之組合長）は5月25日、JAいび川本店で友好提携1周年記念品贈呈式を行いました。常呂町には、明治時代にJAいび川管内の大野町から多くの開拓者が入植した歴史があり、農水産物の相互販売や災害時の相互支援を盛り込んで協定を昨年5月に締結しています。

現在、それぞれの直売所やイベントなどで揖斐郡産の柿や茶、常呂町産の玉葱、ホタル、牡蠣などを相互に販売しています。今回は、協定締結1周年を記念してJAいび川から国歌「君が代」に登場する揖斐川町春日地区の「さざれ石」を贈つていただきました。

「さざれ石」とは…

さざれ石は、もともと細かく小さな石という意味であるが、長い年月をかけて小石の欠片の隙間を炭酸カルシウムや水酸化鉄が埋めることによって、1つの大きな岩の塊に変化したものを感じます。また国歌では、このさざれ石が岩のように大きくなり、苔が付くまでいつまでも平和で繁栄しますようという意味が込められているそうです。

揖斐川町上南方のいび川本店であつた贈呈式では、堀尾組合長が「とても縁起が良い石。ささやかだが贈らせてほしい」と話し、川上組合長は「さざれ石のごとく貴重なつながりとなるよう関係を深めていきたい」、高桑組合長は「私どもの宝として後世に引き継いでいきたい」と話しました。今後は人事交流のほか、相互の農水産物の安定供給を図っていきたいと考えております。

編集後記

- 気が付くとももう1年の半分が終りましたね。先月は低温の日が続いたと思えば高温になり寒暖差が激しく体調を崩された方もいるのではないでしょうか？
- 色々な農作物が成長していくドライブをしている時も畑を見渡してしまいます。組合員の皆様が豊作の秋を迎られますことを職員一同願っております。《営農企画課：広報担当》

成年企画 ワンだぶるファミリ～ 愛犬ボースと散歩をする関根隆博さん



今月の表紙は、富丘地区の関根隆博さんと愛犬のボーダーコリーのボースくん(6歳)です。

ボーダーコリーは最も知能が高いと言われている犬種で、関根さんは牧羊犬として飼われている姿を何度も見ていて「いつかは絶対飼いたい！」と長年思っていたそうです。

飼い始めた当初は畑の中に入る事を心配していたようなのですが、3日もすると自然と畑の中に入つて来なくなつたと聞き、驚きました。

短い時間でしたが、関根さんとボースの信頼関係の強さが伝わりました。お忙しい中、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。

友好提携1周年を記念し 「さざれ石」が贈呈される